

平成17年度再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業）

H17.11.8

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)	事業採択 年度	経過 年数	区分	事業費進捗率 うち用地進捗率	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応 方針
1	道路特殊改良1種事業	一般国道492号 (知野拡幅)	美馬市	L=760m, W=6.0(10.0)m C=1,480百万円	H3	15	⑤	83% 97%	美馬市内の旧木屋平村と旧穴吹町を連結する唯一の幹線道路及び生活道路であり、また震災時の緊急輸送路に指定されているため、地元より早期整備の要望が強い。平成16年度までに400mの区間を部分供用しており、平成19年度の全線供用を目指している。	継続
2	緊急地方道路整備事業	(主)石井神山線	神山町	L=1,440m, W=5.5(8.0)m C=1,400百万円	H8	10	②	72% 95%	重葺トンネルの完成により大通り等の車輦が増大し、緊急時の車輦輸送の選択度もふえ民生に大きく寄与している道路である。トンネルの効果を一層発現させるため諸車輦の通行に支障をきたしている未改良区間の整備を進めている。平成20年度の供用を目指している。	継続
3	緊急地方道路整備事業	(主)神山鮎喰線	神山町	L=1,560m, W=6.0(8.0)m C=5,200百万円	H8	10	②	57% 100%	神山町から徳島市に至る幹線道路であり、県内1時間交通連携道路網に位置づけられた重要な道路である。これまでも積極的に改良を推進してきた路線であり、地元より早期整備の要望が強い。平成21年度の供用を目指している。	継続
4	緊急地方道路整備事業	(主)徳島上那賀線	上勝町	L=1,300m, W=6.0(8.0)m C=3,700百万円	H8	10	②	76% 100%	徳島市へ至る幹線道路であり、上勝町において林業資源及び農産物の出荷のための産業支援の動脈的な役割を担う道路である。上勝町の民生の安定と産業の自立支援のため幅員狭小区間の整備を進めている。平成21年度の供用を目指している。	継続
5	緊急地方道路整備事業	(主)阿南小松島線	阿南市	L=1,080m, W=6.0(10.75)m C=2,100百万円	H8	10	②	46% 100%	県南地域から徳島市への通勤通学の道路として利用される道路である。現道の諸車輦の通行に支障をきたしている幅員狭小区間の整備を進めている。平成22年度の供用を目指している。	継続
6	紀伊水道高潮対策事業	苅屋川	那賀川町	水門2連 排水機場3m3/s C=1,880百万円	H3	15	⑤	76% 100%	流域内の地域開発が進行している。 H15年度水門本体工完成、H17年度排水機場(3m3/s)完成予定。 H18年度に完了の予定である。	継続
7	総合流域防災事業 (浄化)	正法寺川	藍住町	浄化V=45,000m3 浄化施設2基 C=1,086百万円	H8	10	②	68%	住民の河川環境に対する意識が向上している。 水質・景観の改善、悪臭の解消に効果を発揮している。 H24年度の完成を目指している。	継続
8	総合流域防災事業	明神川	鳴門市	L=1,665m 河道拡幅 C=1,672百万円	H3	15	⑤	89% 90%	改修の進展に伴い下流域での宅地化が進展している。 約1,300mが完了し住宅地の浸水被害の低減が図れた。 上流部において河道が狭く浸水被害が発生している。 H21年度の完成を目指している。	継続
9	総合流域防災事業	苅屋川	那賀川町	L=1,180m 河道拡幅 C=1,150百万円	H2	16	⑤	48% 70%	下流部で紀伊水道高潮対策事業により排水機場が整備中であり、H18年度に完了の予定である。排水機場と一体となって治水効果を発揮するため改修を進める必要がある。 H25年度の完成を目指している。	継続
10	地すべり対策事業	落合	東祖谷山村	構設・リソ工 15,000m 水路工 2,000m 集水井 5基 C=800(百万円)	H8	10	②	76%	当該区域内の斜面には人家が多く、末端部には災害時の緊急輸送路である国道43号が走っている。豪雨時の地すべり発生の危険があるため平成8年度より本事業に着手し地すべり防止の対策工を施工してきたが、一部のブロックでなお地すべり現象が著しいため引き続き事業を実施し地域住民の生活安定を図っていく。	継続
11	海岸保全施設整備事業 (浸食対策)	徳島小松島港海岸 (津田地区)	徳島市	護岸 L=994m 掘門 1基 C=964百万円	H3	15	⑤	68%	当海岸の背後には、商業施設や住宅が密集しており、既設の護岸は、昭和40年頃に築造され、老朽化が著しく、高潮時の浸水及び背後地の浸食を防止するために、早期に護岸改良を図る必要がある。 平成21年度の完成を目指している。	継続

評価対象事項①～⑤の区分

- ① 事業採択後5年目で未着工の事業箇所
- ② 事業採択後10年目で継続中の事業箇所
- ③ 事業採択後の準備・計画段階で5年目が経過している事業箇所
- ④ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑤ 再評価後5年間を経過した事業（下水道は10年）

再評価実施事業一覧表（農林水産部関係事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元		事業採択	経過年数	区分	工事進捗率 (%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha						
1	経営体育成基盤整備事業		阿南市	958	53	H12	5	①	2	事業採択直前に起こった集中豪雨による受益地の湛水被害を契機として始まった国土交通省所管の綾野川改修工事との計画、スケジューリング調整が難航したため現在着工には到っていない。地元にはほぼ場整備を強く望んでおり熱意は高い。平成23年度完了予定	継続
②	"	内ノ輪島	徳島市	594	23	H13	4	④	1	地区内で同時進行していた道路計画が中止となり、大幅な計画の見直しを迫られたことが地元のほぼ場整備に対する意欲の低下を招き、事業の進捗が遅った。その間事業を進めるべく協議を重ねたが、平成16年11月には土地改良区の臨時総会を開催し事業廃止を決議した	中止
3	"	福井川	阿南市	1,365	43	H8	9	②	88	ほぼ場整備を実施することにより営農の効率化が図られるとともに、同時進行している河川改修工事により排水不良の農地集積を進めることも可能な農地へ変わりつつある。また担い手への農地集積を進めることにより、効果的かつ安定的な農業経営が可能となる	継続
4	一般農道整備事業	上八多	徳島市	531	65	H8	9	②	85	本地区は、傾斜地を利用した県下有数のミカン産地であるが、地区内の幹線道路ですら幅員狭小で大型車の導入が図れず、営農・輸送に多大な労力を余儀なくされている。本事業の完成で広域農道効果を補完すると共に、地元も流通体系の改善に大きな期待を寄せている。平成19年度完了予定	継続
5	農免農道整備事業	中島	那賀川町	454	102	H3	14	⑤	95	本地区は大規模な水田地帯であるが、現状では主たる農道がなく、農産物の集出荷に支障を来している。このため、地元の早期完成を望む声は非常に強く、本事業により農産物の流通の合理化と輸送労力の削減を図り、地域の生活環境の改善を図る。平成19年度完了予定	継続
⑥	"	川内	徳島市	973	114	H12	5	④	3	起業用地の取得に向けてあらゆる努力を続けてきたが、地権者と合意を得ることが出来ない状況が続いている。路線等計画の変更も検討したが、地形の制約上困難である。よって、このまま継続して交渉を続けても進展が見込みが全くないことから事業中止もやむを得ない	中止
7	地すべり対策事業	穴吹北	美馬市	998	464	H8	9	②	61	本地区は、美馬市穴吹町に位置し、清流穴吹川支流及び支渠に添って点在する6箇所の地すべり地が統合された地区である。近年、過疎化が進み人口、世帯数が減少傾向にある。地区内には随所で多量の湧水が見られ、降雨時には地下水上昇により起因する農地、農業用施設等の被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要となっている。平成17年度事業全体を見直し、平成18年度完了予定。	見直し 継続
8	地盤沈下対策事業	大森	鳴門市	2,725	444	H3	14	⑤	89	本地区は、地盤沈下に起因した排水能力の低下による湛水被害を低減するため、排水機能を回復させる対策工事として、排水機場の設置及び排水路の改修を行っている。竣工については地元調整を図りながら早期の実施を目指し、農業経営の安定を図る。平成20年度完了予定	継続
9	中山間地域総合農地防災事業	加茂	三加茂町	251	83	H8	9	②	40	排水路の未整備及び用水路施設の老朽化に伴い降雨の際に農地・農業用施設の被害にともなわず流域の受益者の財産等にも影響がでる恐れがあり、本事業を実施することにより、これらの被害を未然に防止し農業経営の安定を図ることが重要となっている。平成19年度完了予定	継続

評価対象事項の区分  
 ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業地区  
 ②事業採択後10年目において継続中の事業地区  
 ③事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業地区  
 ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業地区  
 ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業地区

再評価実施事業一覧表（農林水産部関係事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）		事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha						
⑩	ため池等整備事業	佐尾の大池	美馬市	79	6	H12	5	④	8	本地区は、美馬市脇野原に位置し、築後80年以上が経過しているため、改修を計画していただ。しかしながら、土地登記簿名義人の相違人からの協力が得られず事業着手に至れない状況となっている。地権者には粘り強く交渉を重ねたが、用地の用途がたまたま平成一7年度に事業中止処理を行う。	中止
11	林道開設事業 (森林基幹道)	広岡池ヶ谷線	穴喰町	1,877	694	H8	9	②	59	既に完成している両南町と穴喰町を結ぶ森林基幹道 笹無池ヶ谷線に連絡する林道であり、これを完成することによって踏網のネットワーク化が図られるとともに災害時の迂回路として利用できる。また、高性能林業機械の導入が可能になり、林業就業者の労務の軽減や、森林の合理的な経営が図られ、森林整備の促進による地球温暖化防止も期待される。地元からの要望は非常に強い。平成25年度完成	継続

評価対象事業の区分  
 ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業地区  
 ②事業採択後10年目において継続中の事業地区  
 ③事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業地区  
 ④その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業地区  
 ⑤再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業地区

